

第2回宇宙開発利用大賞について

平成 28 年 3 月 24 日

内閣府宇宙戦略室

1 宇宙開発利用大賞とは

- 宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取組を行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度。

内閣総理大臣賞をはじめとして、内閣府特命担当大臣（宇宙政策）賞等の各大臣賞等、10 種類の賞が選考されることとなる。

- これらの賞は、宇宙に関連し、商品・サービスを提供し、宇宙の利用拡大に成果を上げる、又は、今後の宇宙利用の拡大に成果が期待できる独創的な宇宙利用方法を考案する等の顕著な功績があったと認められる個人や団体に対して行われるもの。

なお、本年度は第 2 回目となり、応募件数は 107 件であった。

2 第 2 回宇宙開発利用大賞の募集のねらい

第 2 回目となる今回は、宇宙開発利用大賞を募集するにあたり、以下のような事例についての募集が多くなされるよう、事前に告知したところ。

- (1) 公共分野における高度化・効率化のための社会インフラ整備・維持、防災・減災などの事例
- (2) 関連する新産業の創出のための交通・物流、農林水産、個人サービス・観光などの事例
- (3) 公共・産業両分野における海外展開のためのアジア地域等の新興国の社会課題や地域規模課題の解決に貢献する事例

3 第 2 回宇宙開発利用大賞（結果）

(1) 内閣総理大臣賞

事例名 全世界デジタル 3D 地図提供サービス

受賞者 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

一般財団法人リモート・センシング技術センター

概要 受賞者は、JAXA の陸域観測技術衛星「だいち」と商用衛星画像を活用し、世界最高精度で世界中の陸地の起伏を表現した「全世界デジタル 3D 地図」を開発し、国内外に幅広く提供（詳細は、別紙 1 参照）

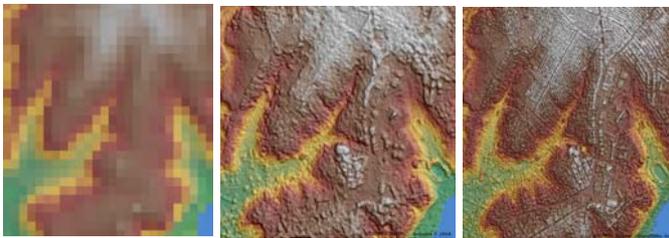
(2) その他各大臣賞等

別紙 2 を参照。

内閣総理大臣賞受賞事例

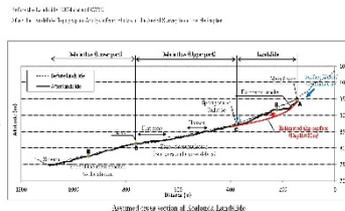
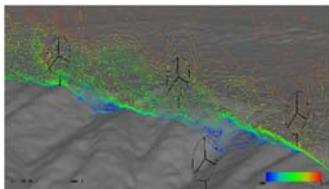
全世界デジタル 3D 地図提供サービス

- 「だいち (PRISM)」と商用衛星画像を活用し、世界最高精度で世界中の陸地の起伏を表現した「全世界デジタル3D地図 (名称: AW3D®)」を開発
- 防災・電力・通信・資源・都市計画サービス等の効率化と高度化を実現
- 世界60カ国で利用され、新たな市場拡大に成功



従来の3D地図との比較、左:従来 90m 解像度、中:今回 5m 解像度(全世界)、右:今回 2m 解像度(都市等)

通信分野での利用事例



防災分野での利用事例

AW3D 全世界デジタル 3D 地図による

鳥瞰図 (エベレスト)

※映画『エヴェレスト 神々の山嶺』(2016年3月12日公開)に活用



表彰式の様子

(別紙2)

第2回宇宙開発利用大賞 受賞事例一覧

賞名	事例名	受賞者名
内閣総理大臣賞	全世界デジタル3D 地図提供サービス	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 一般財団法人リモート・センシング技術センター
内閣府特命担当大臣 (宇宙政策)賞	地球観測データを活用した天候 インデックス保険の開発	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式 会社
総務大臣賞	国産静止衛星プラットフォーム DS2000による商用市場展開	三菱電機株式会社
外務大臣賞	国連宇宙空間平和利用委員会 本委員会議長としての活動	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 堀川 康 氏
文部科学大臣賞	大学生・大学院生による実践的 な宇宙開発の環境整備	UNISON (UNISEC Student Organization) UNISAS (UNISEC Alumni Association)
経済産業大臣賞	リチウムイオン電池による人工 衛星電源の小型・軽量・長寿命 化	株式会社ジーエス・ユアサ テクノロジー 今村 文隆 氏 岩本 達也 氏 瀬川 全澄 氏
国土交通大臣賞	防災・減災用GNSS計測技術の 開発と計測情報サービスの提供	国立大学法人山口大学 清水 則一 氏 shamen-net 研究会
環境大臣賞	ブラジル国における衛星レーダ 技術を使った違法伐採低減への 貢献	一般財団法人リモート・センシング技術センター 小野 誠 氏
宇宙航空研究開発 機構理事長賞	宇宙用高精度角度検出器の開 発	多摩川精機株式会社 スペースロニックス研究所

選考の結果、防衛大臣賞は「該当なし」となりました。